

家畜衛生情報

ランピースキン病ワクチン接種開始に伴う
米国向け輸出牛肉、売買、市場出荷などへの対応

令和6年11月21日付け農林水産省消費・安全局動物衛生課長及び畜産局食肉鶏卵課長から、以下の内容についてお知らせがありましたので、ご了知、ご対応ください。

- (1) 福岡県において、11月21日から牛に対するランピースキン病のワクチン接種が開始されます。今般、米国と協議をしてきた結果、当該ワクチンを接種した牛に由来する牛肉は、当面輸出の制限がかかることになりました。
- (2) 当該ワクチンを接種した牛は米国向け輸出牛肉取扱施設への搬入ができません。また、当該ワクチンを接種した牛には、売買、市場への出荷、と畜場への出荷等の搬出の際に、福岡県から発行されるワクチン接種証明書が受け渡されますので、保管してください。
- (3) 売買、家畜市場においては、当該ワクチンを接種した牛が出荷されることに留意し、当該ワクチン接種証明書の受渡しを確実に行ってください。
- (4) 現在、当該ワクチン接種牛が米国向け輸出牛肉取扱施設へ搬入されないことの確認体制や、当該ワクチン接種牛の産子を当該ワクチン接種牛と同様に取り扱わないこと等について米国と協議中です。

※ ワクチン接種実施区域 発生農場から半径20km以内の福岡県内

※ 米国向け輸出牛肉取扱施設 全国16施設（岐阜県内では飛騨食肉センター＜飛騨ミート農業協同組合連合会＞が該当）

令和6年11月6日以降、福岡県の13農場（乳用11農場、乳用・肉用1農場、肉用1農場）、熊本県の1農場（乳用）で本病の発生が確認されています（令和6年12月3日現在）。

【本病を疑う異状を認めた場合】

疑わしい牛の隔離、生きた牛等の移動の自粛。
速やかに、獣医師、家畜保健衛生所までご連絡
ください。



ランピースキン病に関する情報：農林水産省

www.maff.go.jp

岐阜県中央家畜保健衛生所

岐阜市柳戸1-1 TEL:(058)201-0530 FAX:(058)201-0531

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

休日・平日の時間外の緊急連絡はTEL:090-7024-5269まで

